

5.11 植物

5.11.1 陸域植物

1. 調査

(1) 既存資料調査

① 調査資料および調査範囲

調査した既存資料は表 5.11.1、既存資料調査範囲は図 5.11.1 に示すとおりである。

表 5.11.1 既存資料および調査結果一覧

No.	既存資料	対象データの範囲
1	「河川環境データベース 河川水辺の国勢調査」 (水情報国土データ管理センター、令和3年6月閲覧)	淀川の「淀淀淀 1 (淀川河口～十三西中島)」 の区間
2	「大阪湾生き物一斉調査情報公開サイト」 (大阪湾環境再生連絡会、令和3年6月閲覧)	天保山、野島園臨港緑地
3	「メッシュマップ大阪市の生き物：分野別調査報告書」 (大阪市、平成10年)	港区、此花区、住之江区を含むメッシュ
4	大阪市立自然史博物館報道発表資料 2025年万博会場・夢洲において大阪府で「絶滅」とされ た水草「カワツルモ」を再発見 (大阪市立自然史博物 館、令和3年)	夢洲南端の地点
5	公益社団法人大阪自然環境保全協会提供資料 (令和3 年)	夢洲の会場予定地付近

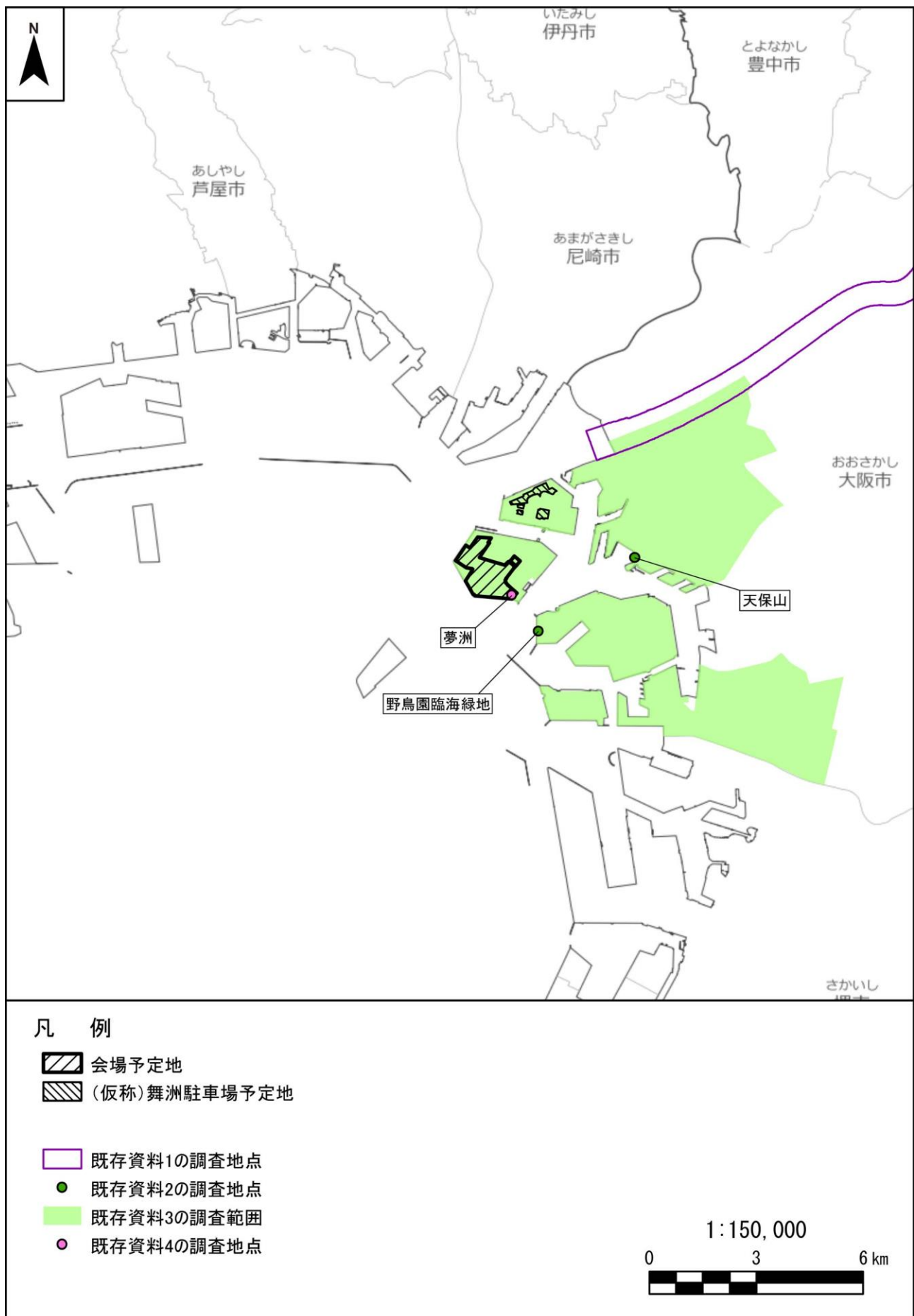


図 5.11.1 既存資料調査範囲

② 調査結果

確認された陸域植物は表 5. 11. 2 のとおりであり、76 科 352 種が確認された。

表 5. 11. 2 既存資料調査結果

分 類		主な確認種
シダ植物		スギナ、トクサ、カニクサ、ワラビ、イノモトソウ (5 種)
種子植物	裸子植物	アイグロマツ、クロマツ (2 種)
	基部被子植物群	ドクダミ、クスノキ (2 種)
	単子葉類	カラスビシャク、オオカナダモ、ヤマノイモ、ネジバナ、ニワゼキショウ、ヤブカンゾウ、ノビル、ツルボ、ツユクサ、ホテイアオイ、ガマ、クサイ、スズメノテッポウ、カワツルモ等 (100 種)
	真正双子葉類	ナガミヒナゲシ、アオツツラフジ、センニンソウ、コモチマンネングサ、ヤブカラシ、クサネム、ムクノキ、クワクサ、ヤブマオ、キンミズヒキ、カラスウリ、カタバミ、エノキグサ、キダチコミカンソウ、ジャヤナギ、ヒメスミレ、アメリカフウロ、ヒシ、メマツヨイグサ、センダン、ハマボウ、カラシナ、イタドリ、ノミノツヅリ、ヒナタイノコヅチ、ホソバノハマアカザ、ツルナ、ヨウシュヤマゴボウ、クルマバザクロソウ、スベリヒユ、コナスビ、ヤエムグラ、ガガイモ、コヒルガオ、クコ、ハナイバナ、マツバウンラン、ビロードモウズイカ、アゼナ、キランソウ、ムラサキサギゴケ、キツネノマゴ、ヒナキキョウソウ、ウラギク、ブタクサ、チドメグサ、ハマウド等 (243 種)
合 計		352 種